



さつき会広報誌

さつき

Vol. 12 号

発行年月/令和3年1月
編集発行/社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人さつき会

新年のご挨拶

新しい年を迎え、皆様には心より御祝い申し上げます。日頃よりさつき会の運営に暖かなご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は世界中で新型コロナウイルスの感染が広がり、感染防止とともに経済活動を維持していく厳しい一年でありました。地域の皆様におかれましても感染の危険性と行動抑制によるストレスを多く抱えられて大変な思いをされたかと存じます。

この一年、さつき会では4月にデイケア部門での新型コロナ発生を経験し、感染予防、拡大の抑制に重点を置き、出入口でのトリアージ、手洗い場の設置、発熱外来、PCR検査対応等の様々な取り組みを行い、感染対策と地域医療機関としての役割の維持に努めてまいりました。ご来院いただいた方々への感染が起これぬよう、また、施設内で治療・療養される患者様への感染が起これぬよう細心の注意を払っております。面会制限や検温、手洗いなどご不便をおかけし大変心苦しく思っておりますが、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

ワクチン、治療薬の開発がされるまでまだまだ予断を許さぬ状況が続きますが、地域の医療・福祉を堅持していくため、職員一丸となって取り組んで参りますので、本年もご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。

末筆ではございますが、皆々様にとりまして2021年が幸せに満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます。



社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人さつき会

やだ たかひろ
理事長 矢田 高裕

令和3年元旦。新年あけましておめでとうございます。

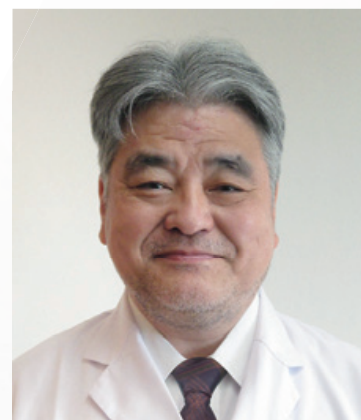
昨年中は新型コロナ禍の中、地域の皆様のご協力を得て病院の機能を維持することができましたこと、心より感謝申し上げます。

本年は新型コロナのワクチン開発が期待されています。また、東京オリンピック、パラリンピックの年です。世界がコロナ禍から平静を取り戻し、未来が夢と希望に満ちたものになることを念願しております。

現代社会は、①超高齢化社会 ②ネット社会 ③経済問題 ④自然による災害や感染。これらは行き過ぎた資本主義や都合よく利用された民主主義の長年の蓄積が関係するものと思いますが、「人類の進歩と調和」という高度成長期のテーマは、今も生き続けていると思います。私どもはよりよい地域医療、病院運営を通して地域とともに進歩と調和の道を歩んで行きたいと思っています。

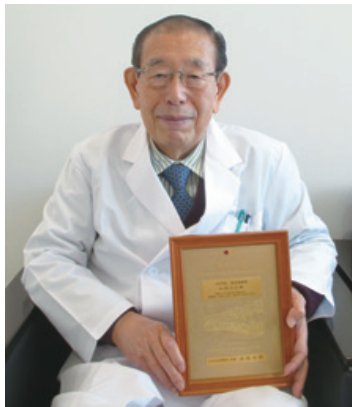
本年が皆様にとりまして佳(よ)いお年でありますようこころよりお祈り申し上げます。

(「良い・善い」ということばとはちがって、「佳い・好(よ)い」は「わるい」という反対語がありません。どんな場合にもよいのだそうです。)



社会医療法人社団さつき会
袖ヶ浦さつき台病院

きくち しゅういち
院長 菊池 周一



社会医療法人社団さつき会
社会福祉法人さつき会

やだ よしお
会長 矢田 洋三

千葉大学医学部 むのはな同窓会賞(社会貢献賞)受賞の栄にあたり

このたびの受賞は、さつき会両法人を代表して戴いたもので、さつき会の皆様、関係各位の皆様に衷心より御礼申し上げます。東南アジアの若者を支援招請し、看護師、介護士を温かく育成する等の取り組みの諸事業に対し表彰戴きました。この事業は県内有力病院の仲間に入れて戴き、現NPO法人AHPネットワークスを介して日越両政府認可の下、1992年よりベトナム人看護師養成事業を行いました。2006年より5年間ベトナム人医師修練事業を行い、更にフィリピン、インドネシアのEPA(経済連携協定)に伴う多くの若者を大切に受け入れて参りました。そして、日越EPAに伴う人事交流は、ベトナム政府と連携し、日本政府の初期方針を変更し、条件も改善して締結にいたり、この協定に伴う優秀な看護・介護の人材が毎年さつき会に来てくれています。

当会では、東南アジアの若者を家族のように大切にさせて戴いております。更に新しくできた諸制度も活用し、東南アジア諸国との友好を更に深め、貢献してまいりたいと存じます。

特集 | 新型コロナウイルス感染症予防対策

全職員で取り組んだ2020年

新型コロナウイルス感染症について

診療部長 **鈴木 均**

新型コロナウイルス拡大に伴い緊急事態宣言が発出された第一波の頃は、病院内にヒリヒリした緊迫感が漂っていました。現在、第三波を迎えつつありますが、医療の現場はまだ落ち着きを失ってはいません。その要因として大きく変わった点が2つあります。

1つは病院(医師)の裁量で迅速にPCR検査や抗原検査を行えるようになりました。陽性者を見つけることも大切ですが、陰性者であると分かることが普段の医療を続けていく上で大きな助けになっています。当院でも8月から約3か月間で200件を超えるPCR検査を実施し、新型コロナウイルス対策の診療に役立ててきました。検査の結果がいつも正しいとは限らないのが困る現象(偽陰性の存在)ではありますが、検査できずに疑心暗鬼になるよりも、ずっと安心して全力で医療に取り組めます。



もう1つは新型コロナウイルスに対する治療戦略が分かってきたことです。どんな病気でも同じですが、新型コロナウイルスも初期治療が大切であり、相手が大きく育つ前に叩いてしまえば重症化のリスクを大きく減らせることに変わりありません。早期発見を可能にするために、検査が拡充されて本当に良かったと思います。軽症例に対してはアビガンなどの抗ウイルス薬を、免疫系の暴走にはデキサメタゾンなどのステロイド剤を、呼吸状態の悪化には人工呼吸器やECMO(エクモ)を使用しながら、患者さん自身の抗病力をサポートし、新型コロナウイルスに打ち勝てるようにすることが治療戦略になります。この治療戦略は使う薬が違えども、普段私たちが他の疾患で採用している治療戦略と大きな違いはありません。戦略が立てば、後はやれることをやるだけです。医療の現場は落ち着きを取り戻しつつあるのだと思います。

しかしながら冬の到来に伴い、気温の低下や空気の乾燥などウイルスにとって有利な環境になってきます。欧州各国ではロックダウンが再検討され、日本でも北海道や東京を中心に再び感染増加の兆候が見られており、油断なりません。これからも院内外での感染対策を怠ることなく、袖ヶ浦・木更津・君津・富津4市における地域医療の要である君津中央病院や、君津健康福祉センター(君津保健所)と連携しながら、新型コロナウイルスに冷静かつ適切に対処していきたいと考えています。

■ コロナウイルスから来院者や入院患者さんを守るために

副院長/看護部長 ^{くり はら} 栗原 サキ子

新型コロナウイルス拡大により、当院では様々な対応をさせていただきました。

・本棟玄関他3か所での手を洗う啓蒙活動につきましては、消毒剤の不足もあり来院者の方には手洗いでのご協力を頂きました。

・来院された方へマスクの着用のお願いと、未着用の方へのマスクの販売のご案内をさせていただきました。また、外来患者さんのソーシャルディスタンス確保の対応として本棟玄関前に待



合所の設置をさせていただきました。

・面会の自粛に伴い、患者さんの現状をご家族へはお電話等で報告をさせて頂き、自粛期間中は本棟玄関前等で荷物の預かりやお渡しをする場所の設置をいたしました。



患者さん、ご家族の方、ご来院された方には色々とお不便をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。

■ 発熱外来の対応

外来師長 ^{しょうじ ひろみ} 東海林 宏美

当院では新型コロナウイルス対策の一環として、発熱、かぜ症状のある患者さんの診察を通常の診察とわけて行っています。症状のある患者さんからの問い合わせや予約外で来院された患者さんに対して看護師が



発熱、かぜ症状の詳細及び新型コロナウイルス感染の危険性がないか等、お聞きし実施しています。

検査が必要になるかもしれない患者さんは、月



～金曜日午後2時～4時の間で診察を行っています。診察は特別診察室で防護服を着用した看護師が質問や検温を行い、医師はモニターで診察を行います。必要に応じて看護師が検査を行うこともあります。その他、

感染予防対策として、次亜塩素酸製剤を使用して、待合、診察室、処置室等の時間毎の掃除や待合椅子を減らし密集を避ける対策を行っています。

■ 外来時の工夫

医事課課長 ^{いちかわ しずお} 市川 静夫

新型コロナウイルス感染症対策として以下の工夫をさせていただきました。

- ① 院内の三密感染予防のための電話再診の実施
- ② 飛沫による感染予防のため各受付窓口へのアクリル板の設置
- ③ 外来フロアにおける定期的な除菌&洗浄



外来患者さんへのお願い
院内滞在時間や他の来院者との接触機会を減らし、外来待合混雑緩和の為、検査や特別な理由がある場合を除き、予約時間30分以上前からご来院いただくことはご遠慮願います。

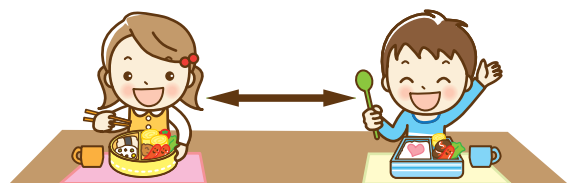
■ 入院患者さんへの対応 療養環境改善・予防教育の徹底!

病棟師長 ^{おおこし さなえ} 大越 真絵

病棟では、患者さんや職員が多く触る部分の清掃や持ち物を床に置かないようにするなど、日々の療養環境の整備を行いました。また、食事や作業療法など、多く患者さんが集まるホールの使い方として人数の調整やテーブル・椅子の配置など工夫しました。

そして、患者さんには、外出時のマスクの着用や帰院時の手洗いは、特に注意を促す日常でした。精神科作業療法のプログ

ラムでは、布でマスクを作り入院生活で利用することで患者さんにマスク着用の必要性を促すこととなりました。



■ コロナウイルスと医療安全

新型コロナウイルス感染症は、「3つの密を避ける」ことが感染拡大防止に有効であるとされています。病院においても密を避ける環境に留意して対策を行ってきました。患者さんの食事の場面や、職員の食事及び休憩場所を確認し、他職種の管理職とも協力し、同時に多くの職員が集まらないよう調整しています。また、閉鎖空間での集団によるインフルエンザ予防接種の密を避けるため、診療がない外来の利用や予め予防接種の時間を30分間で区切るなどの工夫をしました。このような事から、皆様には予約の際にご不便をかけましたが、無事に終了することができました。この度の新型コロナウイルス感染症の世界規模での流行などのよう

に、今後も予期せぬ出来事にも遭遇することと思います。医療安全担当として、患者さん・職員双方の安全な環境が提供できるよう、尽力したいと思います。



皆様のご協力に心より感謝申し上げます。
袖ヶ浦さつき台病院 職員一同

マスクと手指衛生についてお伝えしたいこと

感染管理看護師 森 藍

新型コロナウイルスは、くしゃみや咳、会話で飛んだ飛沫が目・鼻・口から侵入することで感染します(飛沫感染)。また飛沫が付着したものを触った手で、自分の目・鼻・口を触るとウイルスが侵入します(接触感染)。これらを防ぐためにマスクと手指衛生を行います。

新型コロナウイルスは、症状が出る2日前から感染力があり、無症状の感染者でも感染力があります。¹⁾感染した45%は発症前の感染者から感染した²⁾との報告がありますので、人と接するときは普段からマスクを着用が大事です。また、着用したマ

スクにはたくさんのウイルスが付着しています。マスクを触ったら手をきれいにすること、食事中はむやみにテーブルに置かず、紙ナプキンに挟んで環境に付着することを防ぎたいです。



みなさんは店頭の手指消毒剤を使用するとき、しっかりと1プッシュして30秒程度皮膚に擦りこんでいますか？消毒が不十分ですとウイルスが残存し身近なものにウイルスを拡げてしまいます。15秒以内に乾いてしまったら量が少ない証拠です。片手からこぼれない程度の量を手に取り指先、指の間、親指、手首までしっかりと擦りこみましょう。



マスクと手指衛生をすることでインフルエンザ等、他の感染症も減少します。できることをいねいに行っていきましょう。

引用参考文献

- 1) 一般社団法人日本感染症学会提言「今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えて」
- 2) Luca Ferretti¹, Chris Wymant¹, Michelle Kendall, Lele Zhao, Anel Nurtay, Lucie Abeler-Dörner, Michael Parker, David Bonsall, Christophe Fraser ; Quantifying SARS-CoV-2 transmission suggests epidemic control with digital contact tracing ; Science 08 May 2020 Vol. 368.

家庭内での感染予防 手洗いのすすめ



Q

水だけでも手洗いすれば、ウイルスは流れていなくなりますか？

A

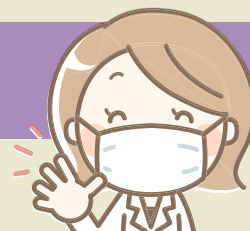
手洗いは石鹸などを使って丁寧に行いましょう。手洗いを丁寧におこなえば、十分にウイルスを除去できるため、手洗い後にアルコール消毒液を使用する必要はありません。



どんなときに手を洗えばいいのでしょうか？



下記の5つのタイミングが望ましいとされています。



手洗いの 5つのタイミング

1

公共の場所から帰った時

2

咳やくしゃみ、鼻をかんだ時

3

ごはんを食べる前と後

4

病気の人のケアをした時

5

外にあるものに触った時

手を石鹸で洗う事を習慣づけましょう！

(出典：厚生労働省HP)

ライフメイトによる院内活動の紹介

ライフメイト **もり 森** **まさ よし 正祥**



当院では、介護福祉士・看護補助者をライフメイトと呼び、入院患者さんの日常生活支援や看護補助業務を行っています。この数年、院内が気持ちよく安全な環境となるような活動として、掲示物の更新や、不審者侵入予防のため夜間のパトロールを実施しています。その中で、今年度、一番力を込めた活動が本棟玄関の装飾です。病院に不安を持たれられる皆様の癒しになることを目標に、花壇を改修し花を植え、季節ごとに装飾しています。来院された際には、ぜひご覧ください。



Dr.シリーズ

精神科医

vol. 3

うつ病のはなし

うつ病の診断と治療について

うつ病という病名が一般に知られるようになって久しいですが、精神科医にとってうつ病の診断はそれほど簡単ではありません。うつ病の診断は、まず身体疾患が原因になっていないか問診・血液検査・画像検査を行います。さらに双極性障害のうつ病相を除外しなければなりません。現在は双極性うつ病は光トポグラフィーという検査でわかるようになってきました。双極性うつ病を除外後、さらにストレスの度合いによりうつ病とストレス反応(抑うつ状態)を鑑別します。うつ病の治療は3本の柱、休養、薬物療法、周囲の理解が必要です。症状は意欲の回復が最も遅く、通常リハビリを行う必要があります。リハビリを行わない場合には再発しやすい状態で復職や生活場面に戻ることになりますので、注意が必要です。以上のように「こころの風邪」と言われるうつ病は実は丁寧な診断、治療が重要です。



院長 心療内科・精神科医 **きくち しゅういち 菊池 周一**

当院へのうつ病に関するお問い合わせは、外来予約センター ☎ 0438-60-1141



新年のごあいさつ

特別養護老人ホーム つつじ苑

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、日頃より当苑の運営に温かなご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの脅威については新たな年がはじまっても収まる気配はなく、私たち福祉施設関係者にとっては緊張の日々を送っております。

色々な制限がある中で、当苑においても新しい生活様式としてICT・IOTの活用が活発化され、ケアの質向上、職員間情報共有や教育体制の確保を行うことができいております。介護ロボット等の普及は更に進んでいくと思いますがそれを有効に活用しながらも、当苑の活動指針であります「声なき人の声を聞き取ることのできるケア」「ご利用者と職員が共に生活を楽しむことのできるケア」を心の中心におき、多くの方々の笑顔の為に職員一同全力で取り組んで参ります。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新しい年が皆様にとりましてお幸せな一年となりますことを心からお祈り申し上げます。



つつじ苑 施設長 ますだ ちよみ 増田 智代美

特別養護老人ホーム つつじ苑 〒293-0005 千葉県富津市上飯野1426-3 ☎ 0439-87-6101

「Go To 2021」

特別養護老人ホーム 袖ヶ浦菜の花苑

「明けましておめでとうございます」という御挨拶を11月に作成しているのですが、果たして皆様のお手元に届く頃、世の中はどうなっているのでしょうか。今よりも安全で安寧に過ごせていることを願うばかりであります。

令和への移行と共に4代目菜の花苑施設長を拝命した途端、台風被害や新型肺炎禍やらと艱難辛苦が用意されてきました。施設長個人の資質・力量で克服することなど甚だ無理な話で、現場でケアやケアに勤しむスタッフに助けられながら、何とか危うい舵取りを図ることが叶ってきたところです。今般は新型肺炎第三波が懸念されている時期。スタッフの皆にはこれまで以上に外出や懇親機会の自粛等に理解と協力を求めざるを得なくなるでしょう。只でさえストレスを抱えることになりがちな対人援助の諸業務の中、十分に労うこともなかなか出来ずにいるのに皆には頭が下がります。彼ら彼女らはこの状況下のヒーローであり、そんなヒーローたちを支える“おやっさん”でいられたらと思っております。

どうか、うちのヒーローズをこの一年、温かい目で見守って戴けたらと願う次第です。



袖ヶ浦菜の花苑 施設長 けんもち けいた 剣持 敬太

特別養護老人ホーム 袖ヶ浦菜の花苑 〒299-0257 千葉県袖ヶ浦市神納4181-20 ☎ 0438-62-6151

ないとう ゆうこ
看護課 課長代理 内藤 裕子

新年あけましておめでとうございます。例年であればインフルエンザの流行期となるため注意を要する時期となるのですが、昨年より世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスへの感染予防対策を継続的に実施してまいりました。当苑における感染予防対策として手指消毒・手指衛生は勿論ですが職員はマスクを常時着用し、日に2回以上の換気や環境消毒を行っています。食席やステーション内に飛沫防止のための仕切りを設置しご利用様が密とならないような設定を心がけております。また、ガウンテクニック

研修や発生時のシュミレーション想定・休憩時間もソーシャルディスタンスを意識し感染予防対策を講じております。



ご利用様には1日2回の検温を実施し体調を確認する事により異常の早期発見に努め、フロア間のご利用者様・職員の行き来を減らし接触がないような調整を図っています。また、ご家族様の理解を得て面会はWeb面会とさせていただきます。

これまでの感染予防対策はご利用様・ご家族様の協力をいただきながら行ってまいりました。ご不便をおかけする事も多々ありますが、皆さまに快く協力いただただけでなく、励ましのお言葉を頂戴する事もありました。皆様のお気持ちに心より感謝申し上げます。

今後もさらに感染予防対策を考察しながらコロナ禍を皆様とともに乗り切り、安心してご利用いただける施設を目指していきます。





SATSUKI's —さつきキッチン— Kitchen



牛肉と根菜の炊き込み御飯

【材料(2合)】

■ 米	2合	☆ 醤油	大さじ2
■ 牛肉(薄切り)	200g	☆ 酒	大さじ2
■ ごぼう	1/3本(約50g)	☆ みりん	大さじ2
■ 蓮根	1/2節(約50g)	☆ 砂糖	大さじ1
■ 生姜	1片	☆ 和風だし(顆粒)	

食物繊維
たっぷり!

【作りかた】

- ① ごぼうはささがき、蓮根は食べやすい大きさにスライスし水にさらしておく。生姜は細切りにする。牛肉も食べやすい大きさに切る。
- ② フライパンで牛肉、ごぼう、蓮根、生姜を炒める。牛肉に火が通ったら☆の調味料を全て入れ、調味料が半分量になる位まで炒める。
- ③ ザルなどを使い、具と汁に分ける。
- ④ 炊飯器に米と③の汁を入れ、2合の線まで水を入れる。
- ⑤ 上に③の具を乗せて、いつも通りに炊く。

◆ 栄養量(1人分)エネルギー 478kcal たんぱく質18g 脂質6.3g 炭水化物81.5g 食物繊維1.8g 食塩相当量1.5g

POINT

冬が旬の根菜をたっぷり使用した炊き込み御飯です。牛肉の旨味と生姜のアクセントで箸の進む味付けです。根菜には食物繊維がたくさん含まれています。便秘予防や生活習慣病予防に役立つ食物繊維ですが、現在多くの日本人が不足しています。主食と一緒に効率よく摂取量の増加を目指しましょう!(食物繊維の1日の摂取目標量:18~21g「日本人の食事摂取基準2020年版」より)

おくら こそえ
管理栄養士 小倉 梢

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響で、今まで当たり前だと思っていた人と人とのつながりが制限された2020年でした。一日も早い感染の終息が望まれますが、皆さまにとりましてしあわせいっぱい2021年となりますように。(S.S.)

社会医療法人社団さつき会/社会福祉法人 さつき会



袖ヶ浦さつき台病院

〒299-0246 袖ヶ浦市長浦駅前5-21

■ 代表電話 0438-62-1113

外来予約センター

(日、祝祭日を除く/受付時間9:00~16:00)

■ 直通電話 0438-60-1141

広報誌事務局

袖ヶ浦さつき台病院 地域リハ・生活支援センター

■ 直通電話 0438-38-3088

袖ヶ浦さつき台病院

SEARCH

<http://www.satsuki-kai.or.jp/>

最新のお知らせは
ホームページを
ご覧ください。

